

人権週間

12月2日（火）から10日（水）は、立入が丘小学校の人権週間です。人権週間は、一人ひとりの違いを認めたり、自分や周りの人との違いを認めたり、互いのよいところを見つけたりし、それぞれがかけがいのない存在であることを再認識する週間です。

人権とは、「人が人として、社会の中で、自由に考え、自由に生き、幸福に暮らすための、生まれながらにしてもっている権利」です。人種、性別、国籍、信条などに関わらず、すべての人に平等に認められ、他人に譲り渡したり奪われたりすることはできません。国際的には1948年に採択された「世界人権宣言」が基本的な基準となっており、日本では憲法によって保障されています。

表現した言葉は、自分や周りの雰囲気に戻ってくるものです。だからこそ、いつも優しい思いやりのある言葉を使いたいものです。相手を傷つけるような言葉は、聞いている周りのみんなも傷つけてしまうことがあります。優しく丁寧な言葉は、ほかほかした温かな雰囲気をつくり出します。たった一つの言葉によって、人はうれしくなったり悲しくなったりすることは、多くの人が経験していることだと思います。デジタル社会が発展し、互いの顔が見えにくくなっている今だからこそ、自分の心に感じた、明るくきれいな感情を素直に言葉に表し、みんなが楽しく温かい雰囲気の中で過ごせるようにするとともに、自分の表現した言葉が、大きな力をもっていることを忘れずに、言葉を大切にしていきたいものです。

《『ひとつのことば』 北原白秋》



ひとつのことばで けんかして

ひとつのことばで なかなおり

ひとつのことばで 頭が下がり

ひとつのことばで 心が痛む

ひとつのことばで 楽しく笑い

ひとつのことばで 泣かされる

ひとつのことばは それぞれに

ひとつの心を 持っている

きれいなことばはきれいな心

やさしいことばはやさしい心

ひとつのことばを大切に

ひとつのことばを美しく

